

1976・9・15

東京蜘蛛談話会

通信 No.12についての反響がありました。

小澤實樹氏から、「通信併愛」との葉書を、7月19日にいたたえ、発行者は渡にむせびました。

高野伸二氏からは封書でお便りをいたたえ、7月21日は再びうれしい泣きをしました。内容一部紹介させてもらいます。

「前略」— No.12は内容に変化が多く、やわらかい内容もあって特におもしろく拝見しました。鳥取子の「ちひろさん」と熊田さんとは、別に何の関係もないのでしょうかね。私、六月上旬、鳥の団体でハバロフスク—バイカル湖畔—フルーツと十日間旅行をしてきました。連日天気がよく気温も30°C近く、シベリアってあつい所だと思いました。横目でにらんだウモは草の塊などに住居を作り、垂直円錐を張るオニクモの仲間、ハナオニクモらしいもの、黄色のヒメハナクモ、地色の赤いフジクモなどでした。— 中略 — それから七月上旬、十日間根室に行きましたが、郊外の草原にナカムラオニクモ、アカオニクモ、キバナオニクモが同じような様式で生活していました。キョウジャクモを探したのですが、コハナクモとアマギエビスクモらしい若いものばかりでした。それにしても厚岸から根室にかけて湿地が多く、水草のゆれる登んだ小池がたくさんあります。ケイ賀捕いの談話会のメンバーでミズクモヲカシはいかがでしょう。— 後略 —

発行者からおことわりしておきまづか「ちひろさん」と熊田君との関係は、親好での彼女が熊田君を養っていることになります。お互いに面識はありません。なみ「ミズクモ探し」については、立候補者を募集中です。

佐藤幸子氏からも葉書をいたたえ、木綿のハンカチーフはびしょびしょです。

「前略」— 7月14日玄関を開いて居りましたら外側の壁をハイヒート居するクロナガバチクモの雄を見つけました。本とクロナガバチクモとの出会いは昭和45年噴火だったと思います。場所は家の外れで、テラスとかテラスに接近した植木、それも地主はう様に青ツツジの枝の上をクロナガ口していました。— 中略 — それから本年までの間家をす、かりに内して建くなり、せよくなれた庭に植木を少しは入り植えをみし、やっとお立ちついてからまず、おなじみの蜘蛛が少ないので気がつきました。ハタトリクモの種類をかうえ位しか見あたらず、からかりして居りましたところ、今年になってヨダンハエトリのあのヤレイナ雄を見つけ、又思ひもかけぬクロナガバチクモの雄を見つけ、こんなうれしい事はありません。これでクロナガバチクモが私の家のまわりで相変わらず生はして居ることかハッキリしました。— 後略 —

昭和51年8月14日(土曜日)

東京新聞 13面

◆クモの標本同定会	
10時—17時	日曜日
場所	立入園
主催	鶴見研究会
名前	小林
会場	川崎市立鶴見小学校
料金	大人300円
時間	15日前
小物	044
大物	22822
合計	2

(小野辰爾氏より)

水野会について

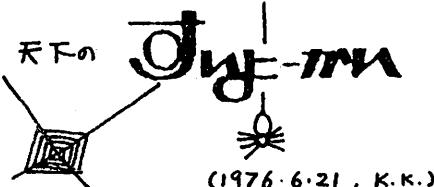
このところ談話会の採集会・例会に出てるよと
すいよーかい。という言葉を耳にする。今度KISHI
DAIA N.40に水野会(日曜とあるのは日付が正
確のほうが見誤るがいい) といふ載ってます。正の
2. そのアドトライニを紹介しましょう。

談話会の分科会・選舉会議事、並び採集人
與集団と呼ばれるこの会。談話会の採集会
はいつも日曜日。でもオカうは日曜日は色々
出られないので、正式には休みじゃない。なんとか休
めには休みもが、と言う者が参り合ひ、以
ざめ合ひながら作る会である。

自前・あくまで自前・写真屋で、新規組織成
の旗手である水野会会長E.S. 日本のや・雄
井界で知る人が知る。着るものなども100円の
副長 H.Y. 日本国産我が社。どこへ行くのも
顔一つへ書記局長 K.N. 以上の3名。何を
採るかにかけては自前日本一の面倒である
1975年5月下旬、丹波の旗上げ式に先駆け
ての開会式(7月上旬、三浦半島へ出向き。
1日の採集量としては上位の結果である64種目。
次に2. 丹波へ飛り 69種目。今までの少人数採
集会としては記録的とも言える採集を行った。畢竟
などは、水野会が出来たければ FAUNAは解明され
ない口ばかり。副長の会員数は4.0の目は立たれ
た。行動力が自前の書記局長などは関東中心に
用意地図に尾るのばし。大川に愈の発達を重ねる。
2.0・1.7・0.7と目に自信のある人、多く人もハンド
リーリングに重点をおき、これ以外は自己集め。に
ほかならぬと怪異を上げつつ採りまく、こう。
水野会の皆くみともなし、と良めの組、正場所
は完璧すぎるほど運びつめ、地元の者のキーワードの
的である。もう2つ。あなた、あなたE. その場所
ここもいつか水野会の力強い手打ちに会ひます。
お注意下さい。

また、会長の独創で、卓会員として採集に参加
のある人々が半強制的に入会させられてる事も
追記しておきます。

丹波では石が盛んでどうぞ。水野会では
りの手裏剣や車が飛んでいくぞ。



1976.9.11. 大河内哲二氏トヨキ翁
をいただきました。独創で、すか泣況とい
うこと? 内容、紹介させていただきます。

「今年はじめて半年間です。毎日1日
の研究日をもらい、生態系の教材化とい
うこと。草地の植物群落を調査と、そこで
の動物生態との関連をさしつけて調べ
ています。何しろ7年間のプランクがありま
したので、思うにまかせませんか。7モとの経
も少しつつ底でござました。——やや終
——最近の理科教育界でも自然と人間に
か、野外調査などが受け入れてはいませ
ずか、実際はそれを指導する教師側
の力不足や受験体制のために、ほとんど
とり入れられていません。自然をみすして
自然を理解させようというのです。無理
なこと? しかし、今の社会は人とが突いてみたい
と思っています。子供が一番自然とふれ
合うのは昆虫や鳥モドリ植物? あります
なのにそれが放課後にも教材にも出
てこないというのが現状です。——中略
——談話会や学会の方もすっかり御
無沙汰で申し訳ありませんか。また
お出でもらおうと思っています。」

次の午後よりご寄付がありました。
御礼申し上げます。

高野伸二氏、西嶋啓一氏
高田勝氏、町田龍一郎氏

21年会 1,000円
未納の方宜しく。

52年会 1,500円

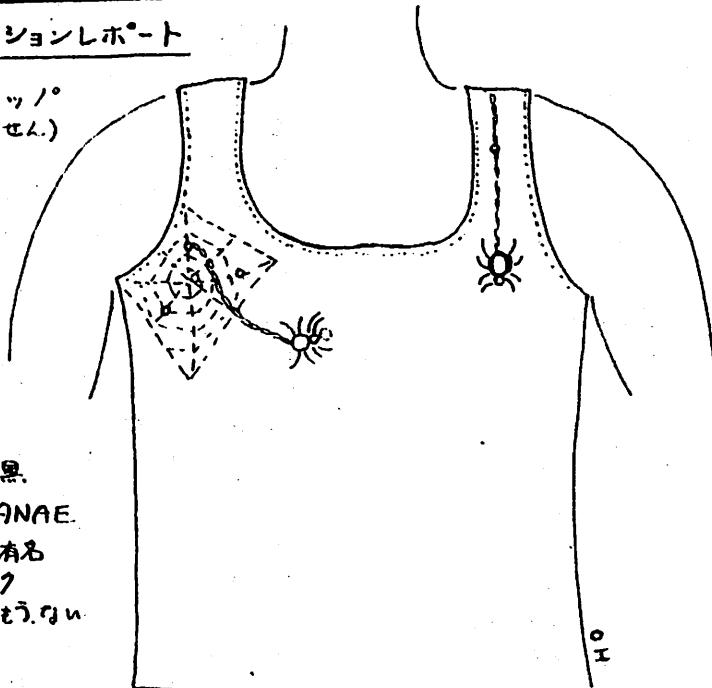
KISHIDAIA ハーフ ナンバー値
上げ案が運営委員会で可決され
ました。新金額は52年1月1日より
実施され、今季インバウドは旧金額の
ままにしました。入手希望者はお早め
に申し込んで下さい。

Dantsu・胸上 ファッショントレポート

- ◎ クモもようのタンクトップ
(ランニングでアリません)
(サマ用)

綿地にかわゆいクモの刺
レウをあしらったNowな
あなたにびらたりのすき
なシャツ。きもちわるいなん
て言わないでちょっと冒険
してみちゃおう♪

- △サイズ：7.9
△色：ビンテージルー、黒
△作成人：MORI HANAE
△売上場所：都内有名
デパート、ファティック
(たまごし夏物なのでどうぞ
かもめれません)
△ねだん：3600円。



△寸度
Now手感質タフアリのタンクトップ。カレシは乳房の上をムラツ
ケキユ四のクモがはいまれる異色のデザインは HANAE さんの勇
断。銷賣に最適！(レポーター：山本関西・冷得狩喰・小熊比呂次)

会計より、1975年分の会計報告がありました。途中で会計担当者
が換り、2つありますので、「引手渡済額」を明記し、それ以後の報告
です。なお、1975年前半の会計担当者が後の方に渡り、会計報告をして
おりません（一括にいつもらさはよかったです）ご了承下さい。なお会計
本は会員各位には公開です。

	収入	支去	残金
1975.9.13. 引手渡	115,668	89,025	26,643
1975.9.14 通信10.7送料		1,300	25,343
1975.9.20 1%保全金室内葉書		700	24,643
1975.9.23 会計収入	1,000		25,643
1975.9.27 会計収入	700		26,343
1975.11.14 通信10.8送料		1,250	25,093
1975.11.25 バッヂ上	1500		26,593
1975.12.7 会計収入	1,000		27,593
小計	119,868	92,275	27,593
1976年度繰越金		27593	
総計	119,868	119,868	0
以上の通り報告致します。			会計 新海棠一

1976年7月11日 運営委員会を壇
鳴先生のお宅で行ないました。出席者は
萱鳴泉・新海榮一・樺田重雄・小
野辰嗣、鳴田順一、高橋登、栗原輝
代子、松本誠治の8名で以下のと
か今後の方針として決まりました。

○ KISHIDAIA バッファナンバー値上
げ。会の財政を立てなおす意味で、
バッファナンバーを希望する人に協力して
もらおうということになりました。本通報
P.2にも書きましたが、今年中は旧会員
で、来年から値上げということにしました。
12月31日前印有効というヒーしますので
希望者はお早めに連絡して下さい。

○ 同定会(去る8月15日開催)は一般
の方にも参加を呼びかけていた
ので、朝日、読売、東京、毎日、時空
の5紙へ「確実の紹介」をおねがいす
ました。日程には連絡ありがとうございました
とのことです。他の4紙の内、東京
新聞には、13面に掲載されました。た
だ、前日では標本の準備をまかない
て、新聞版紙上で紹介するのは今後
もあまり効果がないかもしれません。

○ KISHIDAIA の掲載する原稿
について、投稿者が希望すれば、英文
タイトルを、PEP注などに入れることを
確認しました。「原則」と入れること
はどうでしょうか。申し出などによると、編
集者の元で、英文を作ったといふと思いま
す。実施する時点では、先生方に、英文
の翻訳をするようになさると思いますので
宣しくご協力下さい。また、著者連絡
先も必ず入れたいと思いますので、投稿
される方は、必ず記入して下さるよう、
お願いいたします。ただし、このような試
みから、投稿を阻害するようにならざ
けたいと思っています。

○ KISHIDAIA 及び談話会の
紹介につき、要旨を複数のようにな
りうります。もっとよいものがあれば
ご提示下さい。

東京蜘蛛談話会

(英名): Tokyo Spider
Study Group

東京蜘蛛談話会会誌

KISHIDAIA

(英名): KISHIDAIA (Bulletin
of Tokyo Spider Study
Group)

これらは、イギリスでも季刊の前身たる
British Spider Study Group に
なら、たゞそゝで、文法的にもまちがいが
はないようです。

以上、4項目が、7月11日の運営委員
会で、決まり、確認されました。提案
されたりしたことです。²意見などあ
りましたら、是非お寄せ下さい。

(松本 耕)

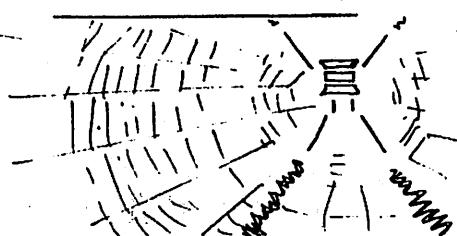
坂上昭一 (1975) 私のアランルヒ
とのハタたち。恩泰社(栄堂)

328 pp. with Photo Plates

15×21.5 cm. ¥ 2,800-

P.57 「ヌミ(ヌミハナシバカ)の巣孔に
ヤツセ木には最も早く木下のトカゲがかかる
瞬間。最初、ぐりの体つきと色あいに付く
と、明暗に元じて変色する。この保護色は
自信があるのか、ついつい逃げようともしない。
蛇も多かった。20分ほど意を要する。アラン
ルヒはわれわれからみると大きさなくなりぬ
レウモでつかかる。多くの有茎植物かい土
地での暮らししからのよくな繁殖心をもつ
たるヤツセ木だ。」

P.P. 206-208 XII Pe.アリオこの木の研究
3. 社会性のヤツセ木。(本文省略)



皆とまといかれておむけですか。もう秋ですね。瑞穂の田舎では毎晩虫が大合唱。ほんとうなら仕事で、秋の夜長など人の人気ないとは言ていられないはずなんですが、本人はいたく黒神経。いいい夜長をいいことに夜ふかしましてます。夜ふかしのおかけて我が雑書き帳の中から蜘蛛関係の記録をみつけることができましたのでお知らせします。

「くものかんさつ」は「多摩の子」(1962)という雑誌に載っていました。これを読んで皆さんしたら、どんな蜘蛛を思い浮かべられるでしょうか。この人、今22歳くらいのはずです。

くものかんさつ
さくらぎわ・たかまさ
羽村東小二年

くものかんさつ
くもには二つのくものすのはりかた
があります。一つはそとにすをはるの
と、うちの中にすをはるのがあります。
そとにはるのは足が長くからだが
大きくて、お尻がへちやんことです。
くものすも、きれいにまるくはります。
くものたまごはコンクリートのところにうみます。うちにはるくもは
おりがまるくてふくらんでいます。
くものすも、かどのところにぐじやぐ
じやときたなくはります。たまごはか
んゆぐらいの小さいふくろの中に、た
くさんうんで、そのままにおきます。

もう1つの記録は、高知県立身の方に聞いた話です。高知、牛村町八幡郡多利山の所は京都から移り住んだ人が多く、町の風習に似ています。この町には、都から運び込まれた人々が集まりをさせらために、したくて遊べる種類の遊びがあり、私が聞いたジブリウムモードが、子供の遊びも作り中の一つ。

- くものかんさつ
1. 小川原から強きうなつロツソモト捕えれる。(うきわの前にサリなどまづかれて隠えている。)
 2. 横走れの上に二頭を差し喧嘩させる。下には水をひいた木盆をおきます。

3. 喧嘩判定方法もあり、殺すことはさせない。糞をひいてあつたらもう一人負け。
4. 遊びが終ると蜘蛛を打ち倒し、斬でかいります。強くなくとも、一戸の蜘蛛命を語を語るそらです。

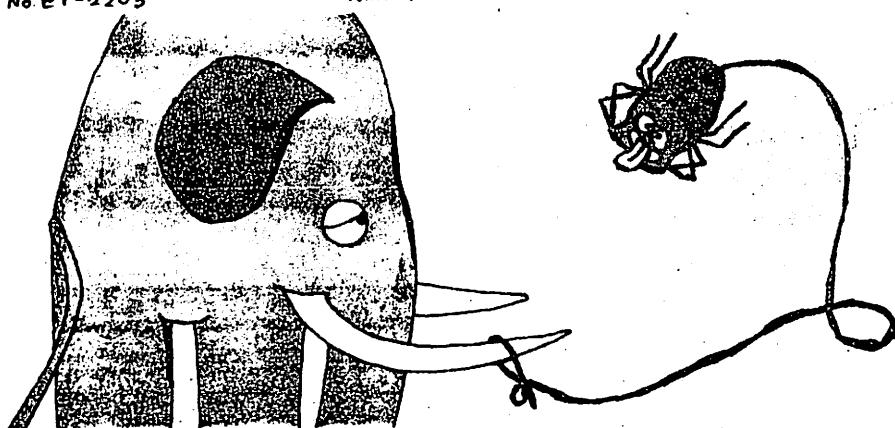
西多摩郡瑞穂町武藏

田中理恵

(1)(9)(0) (1)(2)

No. EY-2203

TOKYO QUEEN



田中理恵氏より象とアシの絵の封筒に入れて、上のようだ原稿がヒビました。(13-IX-76 Rec.)

前ページに掲載した原稿にて、中田理恵氏より便りがありました。すこしお断りを加えます。

「初めて談話会おつてベンを打つてみました。話を食についての間入ったと思ったら、もう2年たとうとしているので本人がびっくり……。今こまにはつて、いかにもんづかしい時にやうと“やううかな”などと考えだしました。根がマイペースすぎで、のんきなのでは先をあいかわらずゆく(やや本音で)やることになります。一中田谷一原稿は、そのまま使われると想ひ書けました。“こつ”がわからぬのでこのようにあります。」
—後略—

田中氏もはじめ、佐藤翠子、栗原輝代子両氏も、フードドートをうねりにつくっています。さすが「翻訳な女性！」と感嘆せすにはいられません。“やうう”と思われるほど翻訳されることはあつて、たゞしてしまって、でも、少し訳すことをやめられないといふかぎりか動く“やうう”いませんか？”，室しく。(S.M.)

(本件からの続き)

4. *Coelotes* sp. (4-III-'76, 大崎山農業所, R.SAKUMA leg.)
1. *Linphydiidae* Gen. sp. (Ibid., Idem leg.)
44. *Myrmarachne* sp. (28-IV-'76, 小川原村, R.SAKUMA leg.)

こんな続行では、おもしろくないと思われるの方が多いでしょう。中止は承けありません。うち540個個体を同定し、不明程度か、約50個作成したようです。同定率は
 $\frac{540}{540} \times 100 = 90.74\%$
 ですか。マアマア？ どうか？ それとも、ムムム… どうか？

今後も同定会は続けていくと思いますか？ 室しくお断り下さる。

お太魯もお發し下さい。

1976年8月15日 目黒区立大橋公民会館で行なわれた同定会は、前述(p4)のように数上アベールにて結果は失敗しましたが、口コミで、笑む会以外の方も参加して下さい。成功したといえどうぞ。同定会に参加された標本から、おもしろうなものを紹介します。

7. *Lycosidae* Gen. sp. (21-VII-'75, 北海道・大雪山白雲, R.TANAKA leg.)
16. *Lycosidae* Gen. sp. ♂ (Ibid., Idem leg.)
14. *Thamisidae* Gen. sp. (6-VII-1976, 屋久島, M.MATSUDA leg.)
38. *Coelotes* sp. (17-VII-'76, 安足向, M.MATSUDA leg.)
16. *Gnaphosidae* Gen. sp. (8-VII-'76, M.MATSUDA leg.)
19. *Micryphantidae* Gen. sp. (Ibid., Idem leg.)
40. *Theridiidae* Gen. sp. (17-VII-1976, 安足向, M.MATSUDA leg.)
12. *Salticidae* Gen. sp. (7-VII-'76, 屋久島, M.MATSUDA leg.)
14. *Gnaphosidae* Gen. sp. ♂ (5-VII-'76, 球王町, K.SUZUKI leg.)
52. *Salticidae* Gen. sp. (28-VI-'76, Ibid., Idem leg.)
49. *Clubionidae* sp. (16-VI-'76, Ibid., Idem leg.)
24. *Lycosidae* Gen. sp. (31-VI-'76, Ibid., Idem leg.)
66. *Salticidae* Gen. sp. ♂ (26-VI-'76, Ibid., Idem leg.)
46. *Pirata* sp. (8-VII-'76, 球王町, C.UMEYASHI leg.)
31. *Coelotes* sp. (31-VII-'76, 目黒区立大橋, Idem leg.)
8. *Pardosa* sp. (11-IV-'76, 相模川, S. Ono leg.)
9. *Pirata* sp. (Ibid., Idem leg.)
32. *Micryphantidae* Gen. sp. (10-V-'76, 丹波野田市, T.NAMIKI leg.)
2. *Oxyopes* sp. (14-VII-'76, 球王町, K.KONDO leg.)
1. *Pardosa* sp. (16-X-'75, 葦井川, 橋本, T.FUJIWARA leg.)
12. *Synema* sp. ♂ (19-V-'76, 葦井川, K.SUMINOURA leg.) (左181n62c)

クモに関する用語一覧 - III -

Willis J. Gertsch (1949) AMERICAN SPIDERS. D.VAN NOSTRAND Co., Inc., (Princeton) pp. 267-220.

Glossary の訳です。術語の訳は、一般的な意味をそのまま採用しました。

Integument: 「外皮」 クモあるいは昆虫の体の外側のおおい、すなわちフタカラ。

Instar: 「令」 節足動物の後胚発生における個々脱皮の間の期間または段階。

Labium: 「下唇」 口腔の底を形成するクモの下側の歯。

Maxillae: 「下顎」 クモにありては、触肢の基節から生じた枝(Endites)と同義である。

Metatarsus: 「蹠節」 第5脚の節の1部、基からオホ番目のもので、基部には蹠節を、先端には距節をつける。

Moltung: 「脱皮」 新らしい外皮の形成に伴って起こる、クモを離し捨てる(=死)期間の過程。

Mygalomorph: 異目 Mygalomorphae のメンバーで、ラランたう(オオツカモ)、トトテカモおよび、これらの中(=)全てをいい。(異目の分類については ATYPUS (64): 3-5, 1975 があります。)

Nephridia: 「腎管」 環形動物軟体動物などにある排泄器官として使われるい字管状の構造。(sing. Nephridium)

Ocelli: 「单眼」 昆虫の单眼(simple eye)のこと。(sing. Ocellus)

Ostia: 「心門」 クモ及び昆虫の心臓に入り込む、間隙状の開口部。(sing. Ostium)

Palpus: 「触肢」 Pedipalp のあと付属肢で基節と下端を除いた部分; クモの雌では簡単; 雄では生殖器室とよぶ。(pl. Palpi)

Patella: 「膝節」 クモ形類にはない。股節と胫節の間の軸節部。

Pedicel: 「腹柄」 細くした第1腹節、すなわち腹、腹部を頭胸郭に結合させた部分。

Pedipalps, Pedipalpi: クモの頭部の第二3目目の付属肢で、鉗をかみつけるための基部の部分とその先の付属肢すなわち palpus となる。(palp & Pedipalp の区別がこのまま明確ではないうにかかず書か思ひつきません。) ピンと角立とか、長い毛とか、長い毛を下さない)

Postabdomen: クモでは、肛丘(canal tubercle)のこと、融合しておらず独立した部のこと。

Receptors: 「受容器」 感覚器のこと; 外部の物理的反応する外因にある特化した構造。

Segment: 「節」 やわらかい部分の間にあり、付属肢や、体の環状あるいは、体節、あるいは小部分(=部)のこと。(いわゆる体節のこと? しかし節を表すのは Segment, somite, joint などあります。(joint はやわらかい部分のこと) 正しい定義はどこか?)

Scales: 「鱗片」 クモの体毛の変形したもので扁平にするもの。

Setae: 「セラ」 体にある、細い毛のうちたり、棘状の T-shaped LT=付属物。

つもに開する用言語一三一(後)。

Sclerotized:「硬化」, タケラ内
にscleratinあるいは他の物質
の沈着によつてからくたる上,

Scopula:「毛束」, 毛あるいはセタの
小さなまた密な束, あるいはより多
量の(な)ラシチャだり, たるもの。

(p.269通り)

()内は訳者の注です。不適当なもの多く
と思ひますので、版示下さい。この項の責任
は日本本社あります。

10月10日には予定されている採集・
懇親會の現況をお教らせします。
詳しきは、実行委員(樺田重雄氏)の方
から連絡されまます。

場所:八柱豊園同近。

雨天: 10月17日(日)は遅期。

山手線由暮里あるいは上野駅から
桜戸駅に行き、新京成線にのりかえ
て、「八柱」駅下車。徒歩15分。20ル
トが便利なようです。

12月1日は、三食合同例会があります。
発表される方、今からご用意下さい。

7月11日の運営委員会では、いよいよ
3月22日が決まりました! 提案されましたら、了し
て。 KISHIDAIA バックナンバーの値
上げ、 KISHIDAIA の体裁変更(改
文題名、著者連絡先の記入)、採集
会の英名の作成、 KISHIDAIA の英名
作成です。提案12月22日は、多くの方々
のみ知恵をお借りしていいと思ひます。宣
しくお頼みします。なお、一般公演の同
定会はつづき、そのアピール法を考えねば
なりません。これはつづきを参考石井が下
さい。

入会

本田重義氏。

602 京都市上京区尾ノ今出川下ル
西陣園地 510号

本号は、多くの方からの投稿やお
便りがあり、大変、作りやすい号でした
それこそ、定価 25円ですが、まだ、2ペ
ージ余裕があります。お便りを下さっ
て、小澤、高野、佐藤、大河内、4氏
と、投稿原稿を下さった、熊田、小野、
田中、3氏、12、御礼申し上げます。あと
2ページもうありますけれども、今後も宜しく
お協力下さい。

KISHIDAIA No.11.

原稿募集中 188888
向合せは 熊田・山口両氏へ。

東京駅・株式会社

本部: 191 日野市豊田 1896
萱嶋泉元 0425-81-7128

会計: 185 国会寺市本多 1-6-6
新潟市一方 0423-21-0284

編集: 221 横浜市神奈川区
片倉 199、熊田寛一元
045-491-0792

: 240 横浜市保土ヶ谷区
東川島町 37-3 山口守元
045-381-2425

会計: 51年1000円、52年1500円

KISHIDAIA No.40号-発行
バックナンバー(1部欠番、27~29)
入手方法。52年5月、佐々。

本通信の発行責任は日本本社あります。